

netWIN GSテクノロジー株式ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
追加型投信／海外／株式

足元の市場環境と今後の見通し



概要

- 金融政策の追い風と高い利益成長が期待される米国テクノロジー株式
- netWINは約25年の良好な長期運用実績を持つテクノロジー株式ファンド
- AIが企業業績の成長ドライバーになるとみて積極的に投資

2024年10月

■ 設定・運用

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第325号

加入協会：日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■ 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込



株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

あらゆる産業に変革をもたらすテクノロジー

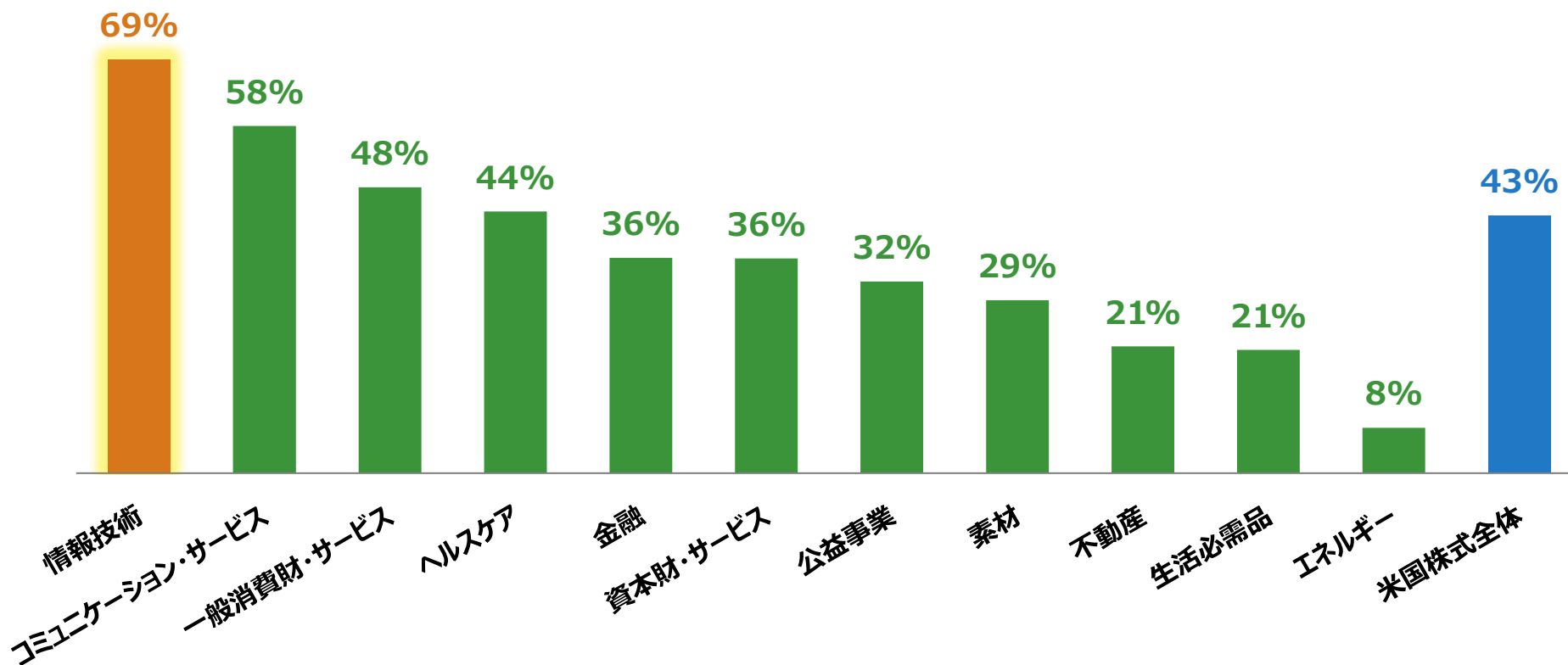
- 本ファンドでは主にテクノロジーの発展により恩恵を受ける米国企業の株式に投資します。
- テクノロジーはあらゆる産業において革新をもたらしており、生活に欠かすことのできないインフラともいえる存在です。その重要性は今後ますます高まることが期待されます。



米国企業業績見通し

- 企業業績は株価を決定づける大きな要素であり、今後のパフォーマンスを見通す上では重要な指標となります。
- テクノロジー企業を多く含む情報技術やコミュニケーション・サービスなどのセクターの今後の利益成長は相対的に高くなると見込まれています。

◆ 米国株式 業種別 今後3年間の累積EPS（1株当たり純利益）成長率予想（2024年～2026年）



S&P500指数の各業種別指数を使用

期間：2024年～2026年（2024年8月29日時点の予測値）、出所：LSEG

上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。

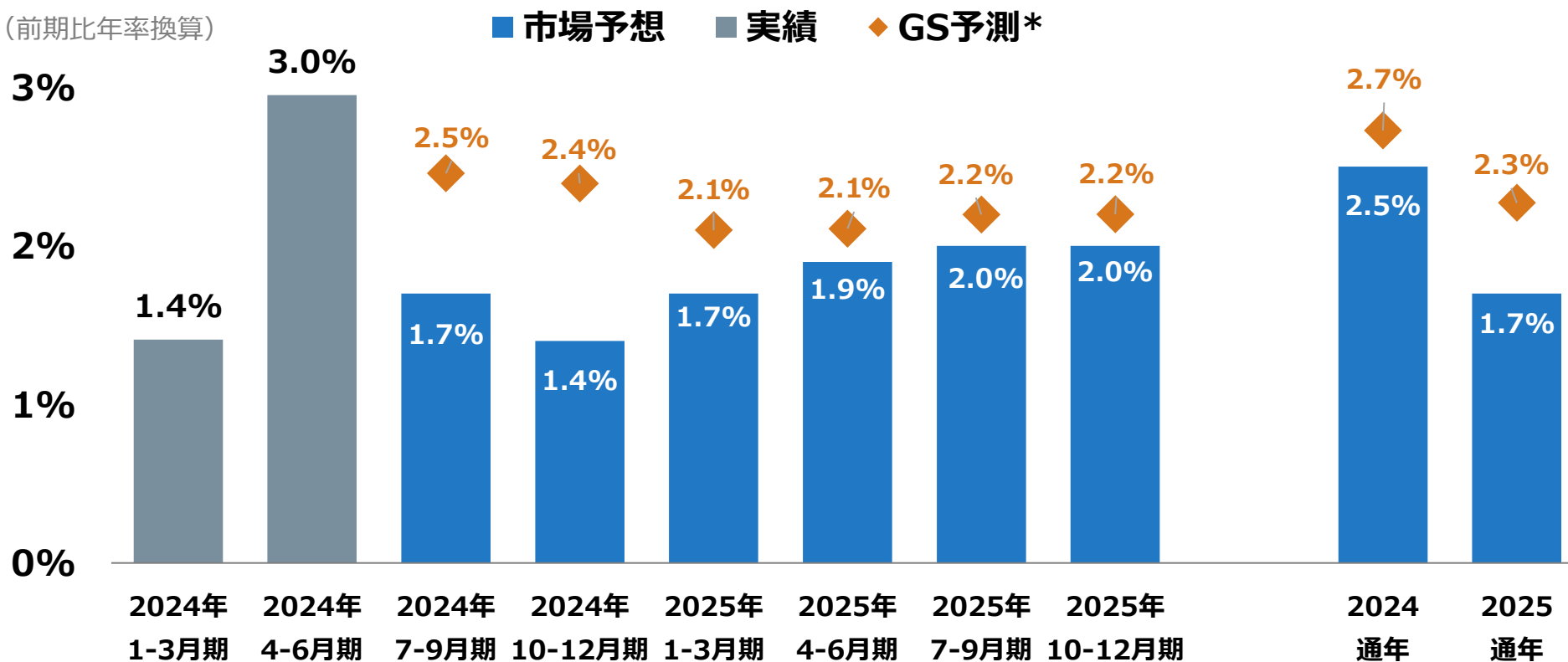
経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。追記をご覧ください。

米国経済成長率の見通し

- 企業が活動する土台である米国経済は2024年、2025年ともに堅調な推移となるとみられています。
- ゴールドマン・サックス・グローバル投資調査部では、力強い個人消費などを背景として市場予測よりも高い経済成長となるとみえています。

◆ 米国の実質GDP（国内総生産）成長率予測

（前期比年率換算）



*GS予測：ゴールドマン・サックス・グローバル投資調査部による予測値

期間：2024年1-3月期～2025年10-12月期（2024年7-9月期以降は2024年9月9日時点の予測） 出所：ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・グローバル投資調査部

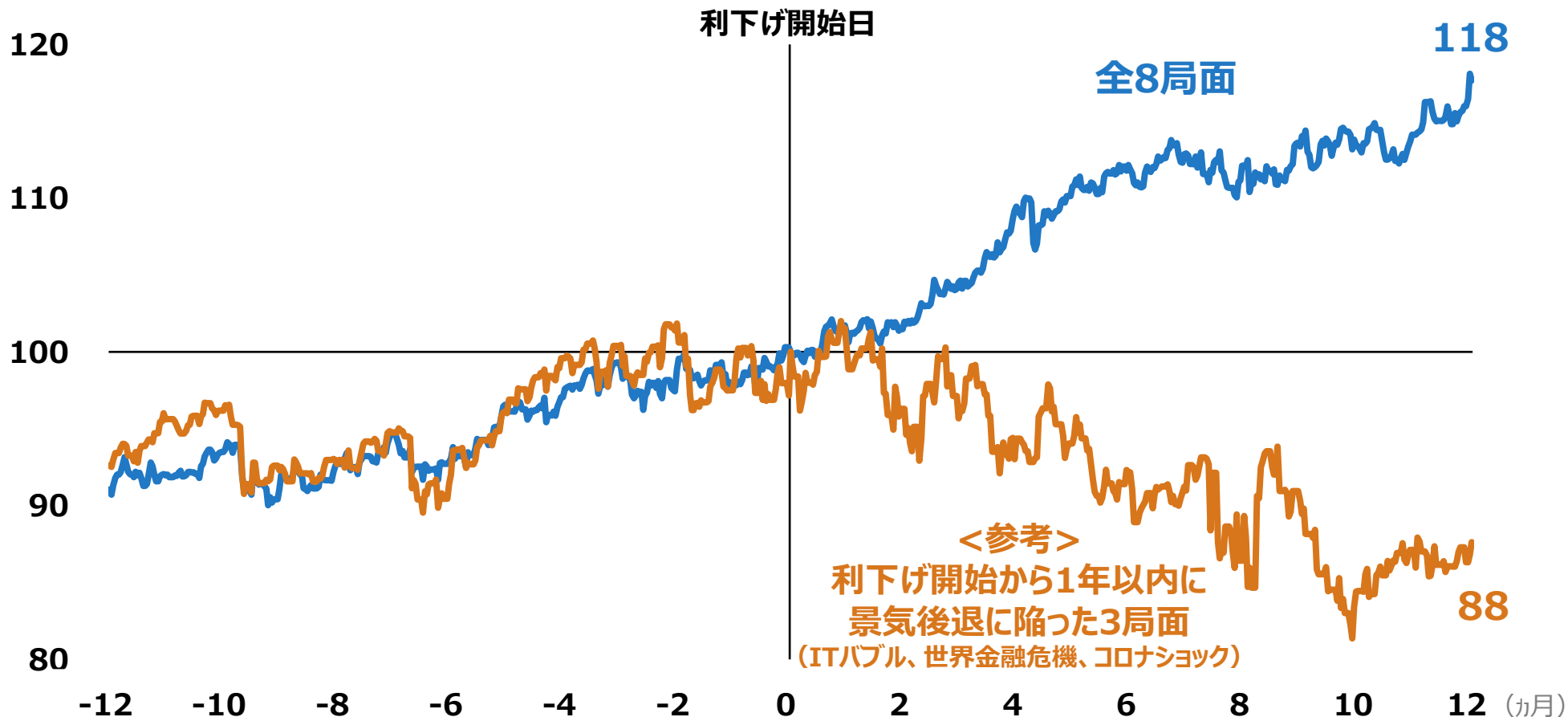
上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。

経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。追記をご覧ください。

利下げ開始前後の米国株式市場の推移

- 9月のFOMC（米連邦準備制度理事会）にて利下げが決定されました。過去の利下げ局面における米国株式のパフォーマンスを確認すると、景気動向なども重要ですが、利下げ開始後の米国株式は堅調に推移する傾向にあります。

◆ 1984年以降の利下げ開始前後の米国株式市場の平均推移



米国の利上げ開始日の米国株式（S&P500指数、配当込み、米ドル・ベース）を100としてその前後12ヵ月の動きを指数化、その中央値を使用

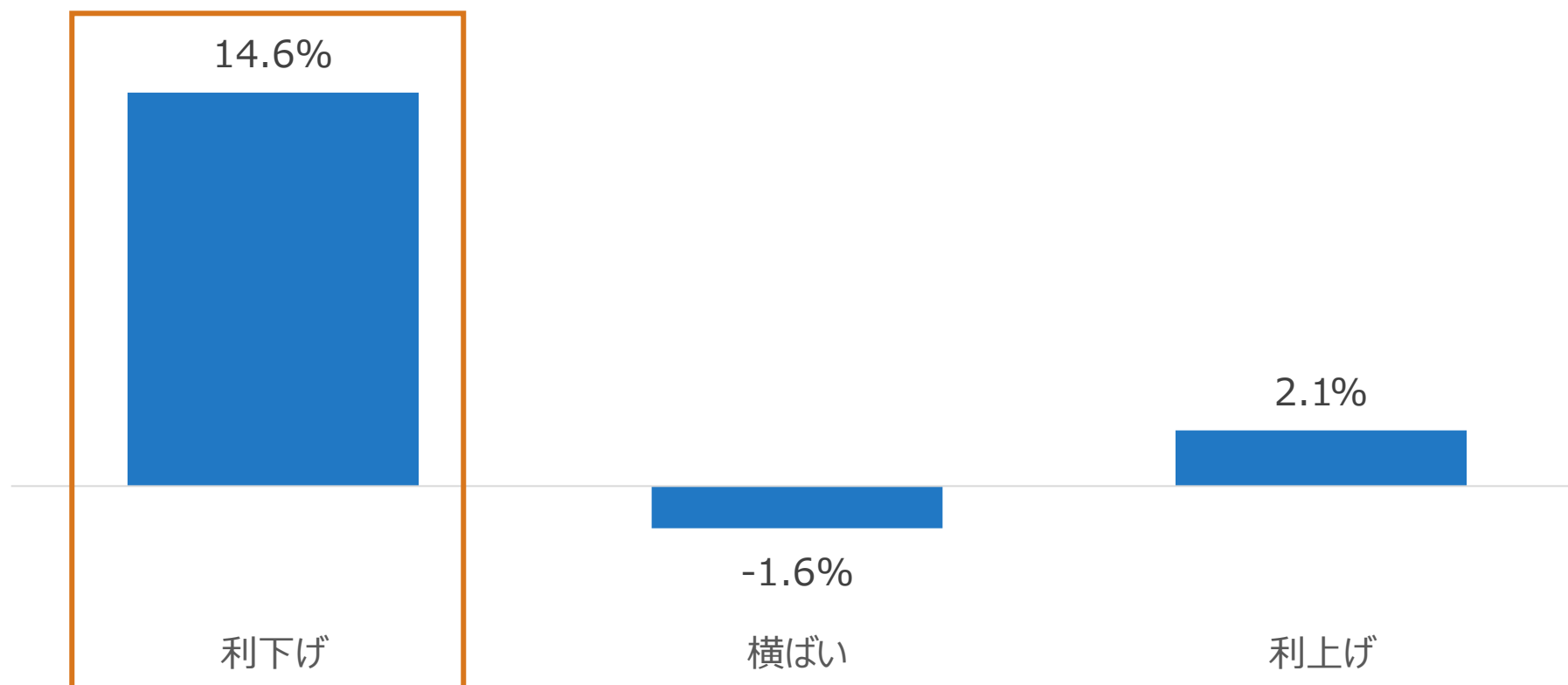
期間：1984年1月～2023年12月末、出所：ブルームバーグ

上記は過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。

米国利下げとnetWIN

- 過去の政策金利の変化とnetWINのリターンをみると、政策金利が下がった局面においてはnetWINは米国株式全体（S&P500指数）よりも相対的に高いリターンとなってきたことが確認できます。

◆ 過去約25年間の、政策金利動向の各局面におけるnetWIN Bコースの年率相対リターン（対S&P500指数）



netWIN Bコースは分配金再投資基準価額、S&P500指数は配当込み・円換算のパフォーマンスデータを使用

上記は対象期間における各月末時点の米政策金利の数値を使用し、利下げ、横ばい、利上げを判定。それぞれの局面における月次相対リターンの平均値を年率化した数値。

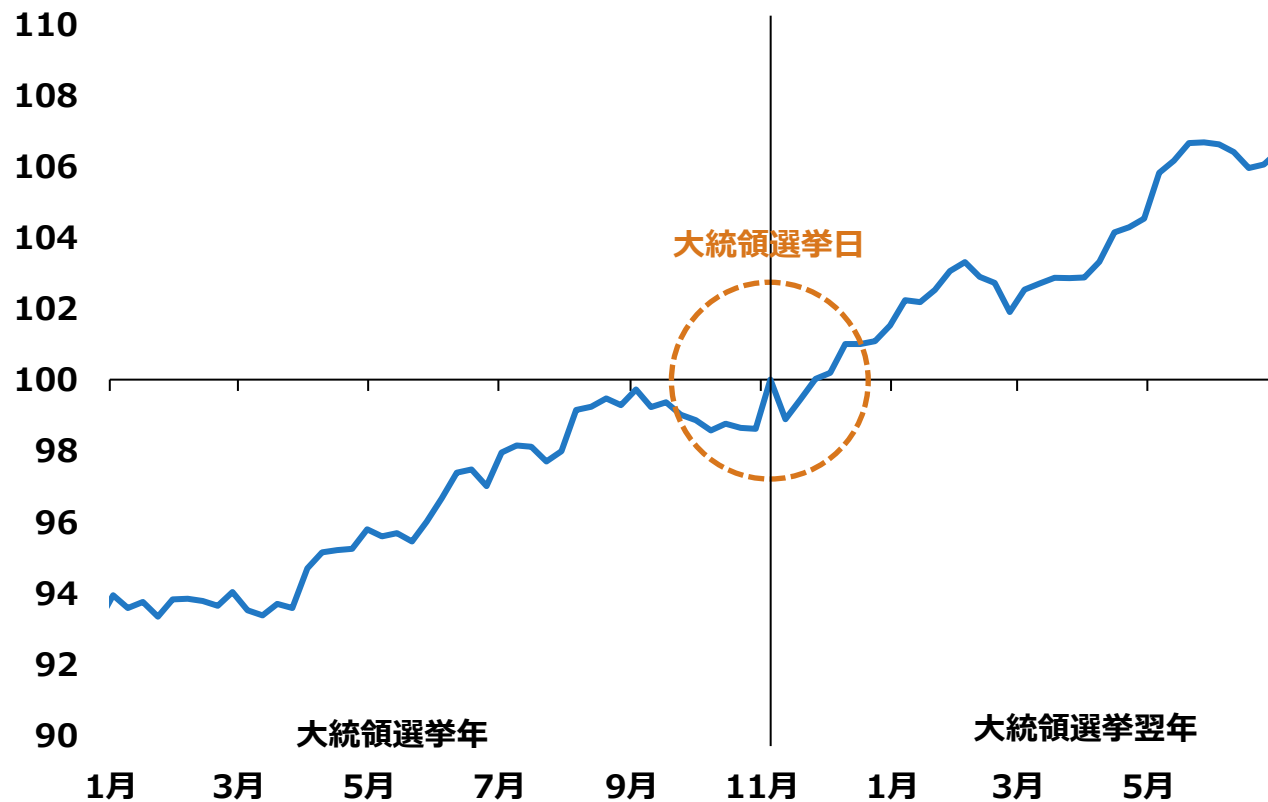
期間：1999年11月末～2024年9月末、出所：ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

上記は過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。上記の分配金再投資基準価額は信託報酬空除後のものです。分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

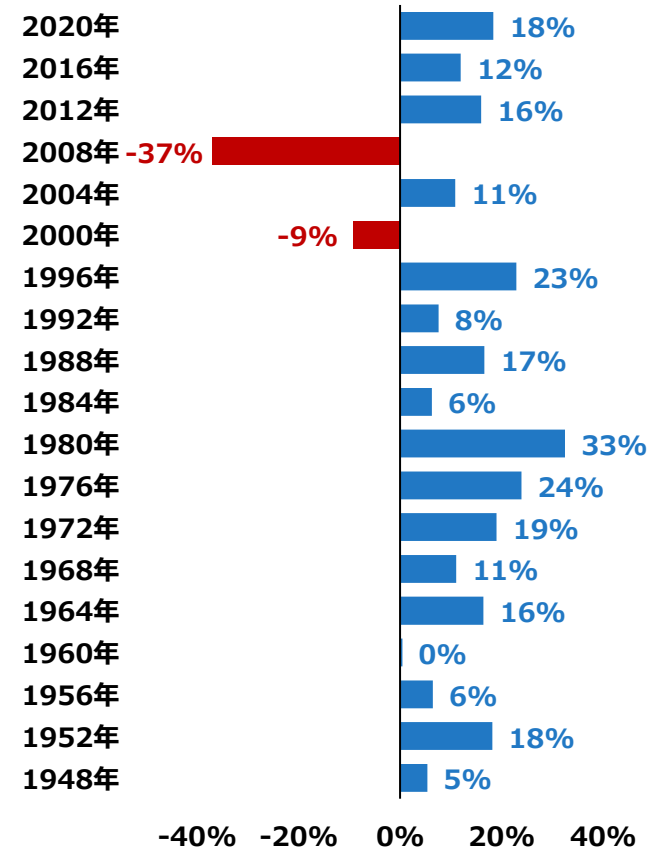
米国大統領選挙時の米国株式市場

- 過去の大統領選挙前後の米国株式市場をみると、選挙の結果に関わらず株式市場は概ね堅調に推移してきたことが確認できます。加えて、選挙年は景気後退発生局面を除いて概ねプラスのリターンを創出する傾向があります。

◆ 第二次世界大戦後の大統領選挙前後の米国株式市場の平均推移



◆ 大統領選挙年の米国株式市場のリターン



大統領選挙当日を100としたS&P500指数（配当込み、米ドル・ベース）の平均推移（大統領選挙年1月～翌年6月末）

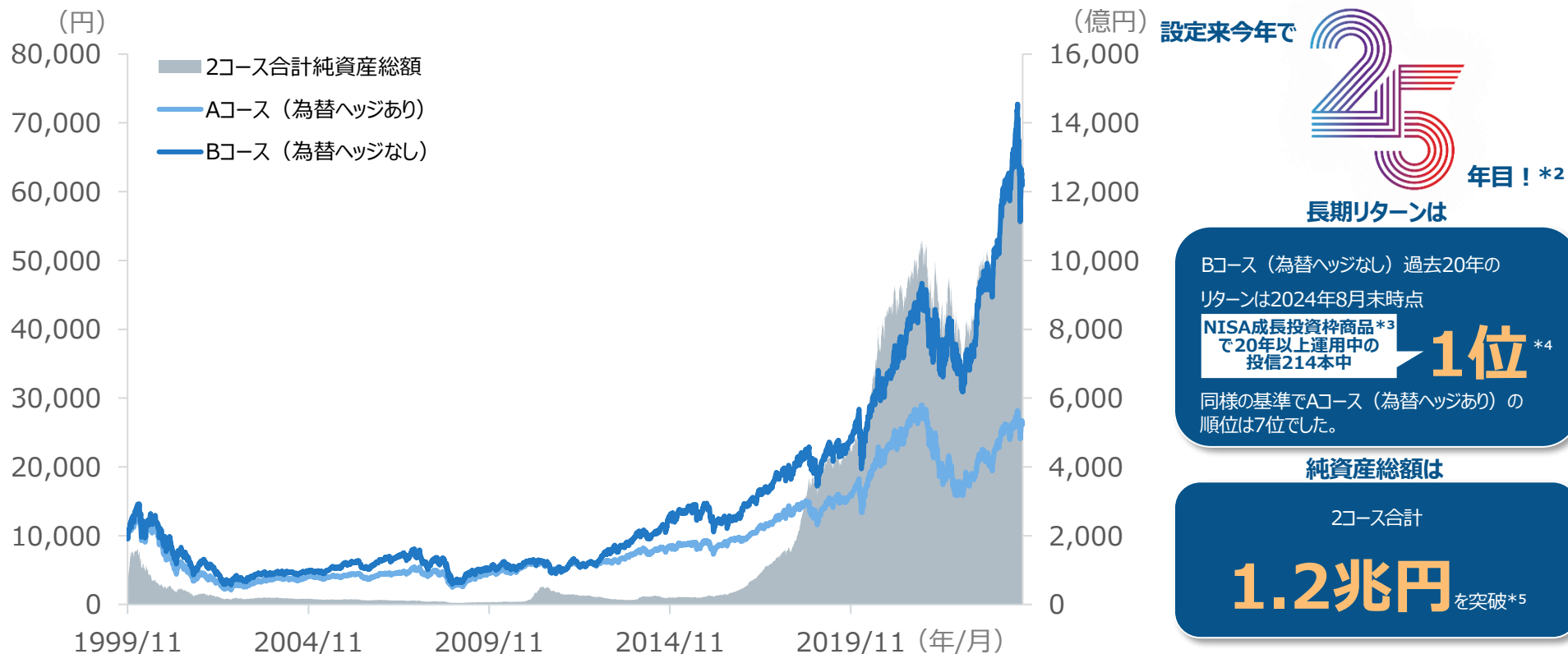
期間：1947年～2023年、出所：ブルームバーグ

上記は過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。

netWINの運用実績

- netWINは1999年11月の設定後、今年で25周年を迎える国内を代表するテクノロジー株式ファンドです。
- Bコース（為替ヘッジなし）はNISA成長投資枠商品のなかで過去20年リターンが1位と良好なパフォーマンスを示しています。

◆ netWIN 分配金再投資基準価額（左軸）および純資産総額（2コース合計、右軸）の推移*1



*1 期間：1999年11月29日（設定日）～2024年8月30日、出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント *2 1999年11月29日設定 *3 新しいNISAでは、信託期間20年以上であることが対象商品の要件となっています。*4 時点：2024年8月末 投資信託協会より公表されたNISA一般投資家向け成長投資枠対象商品リスト（非上場ファンド）のうち、同時点で運用実績が20年以上あるファンドにおけるリターン比較。債券等、投資対象が異なるファンドも含まれます。データ算出期間を変えると順位は異なります。リターン比較は出所：モーニングスター 分配金再投資基準価額を使用しています。*5 時点：2024年8月末、出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント 本ファンドには、株式投資リスク、集中投資リスク、為替変動リスク等があり、その基準価額は短期的あるいは中長期的に大きく下落する可能性があります。ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。本ファンドへの投資については、その商品性を十分ご理解の上ご判断ください。

過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。上記の分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。写真やイラストはイメージとして掲載するものです。

netWIN 銘柄の共通点

- 本ファンドでは、主に米国を中心とした「テクノロジー・トールキーパー」企業など、テクノロジーを活用することで、コスト構造、収益性、競争優位性の改善や維持が期待できる企業や、ビジネス・モデルの継続性が期待できる企業の株式に投資します。

テクノロジー・トールキーパー企業

高速道路などの料金所のように「交通量」（＝売上げ数量）の増加や「通行料」（＝価格）の値上げによって収益を上げることのできる企業で、主にプラットフォーム企業などが該当します。

例） クラウド・コンピューティング企業、Eコマース・プラットフォーム企業、SaaS（クラウド型ソフトウェア）企業など

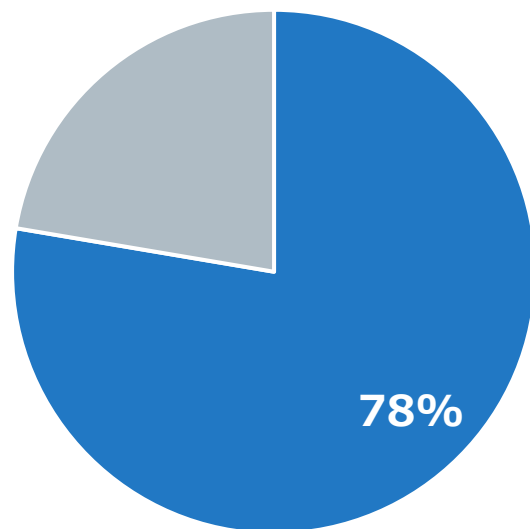
※「テクノロジー・トールキーパー」はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の登録商標です。



netWIN AI関連企業

- netWINでは足元の注目分野としてAIに注目しており、ポートフォリオの約8割がAI関連企業で構成されています。
- AIといっても様々な分野があり、成長の速度や市場からの評価のタイミングも異なりますが、netWINではこれらの企業をバランスよく組み入れて投資を行っています。

◆ netWINポートフォリオにおけるAI関連企業の割合



◆ netWIN 主なAI関連分野（2024年8月末時点）

1) イネーブラー

クラウド・
コンピューティング

AI向け半導体・
半導体製造装置



2) データ& セキュリティ

AI用データの整備などの
関連企業

サイバーセキュリティ
関連企業



3) アプリケーション

AIを活用した
ソフトウェアやサービス



時点：2024年8月末、出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
マザーファンドのデータであり、比率は対純資産総額比です。AI関連企業とは、AIの機能強化に必要なインフラの構築やAIを活用したサービスの提供などを通じて、AIが普及するなかで恩恵を受ける銘柄としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが定義しています。

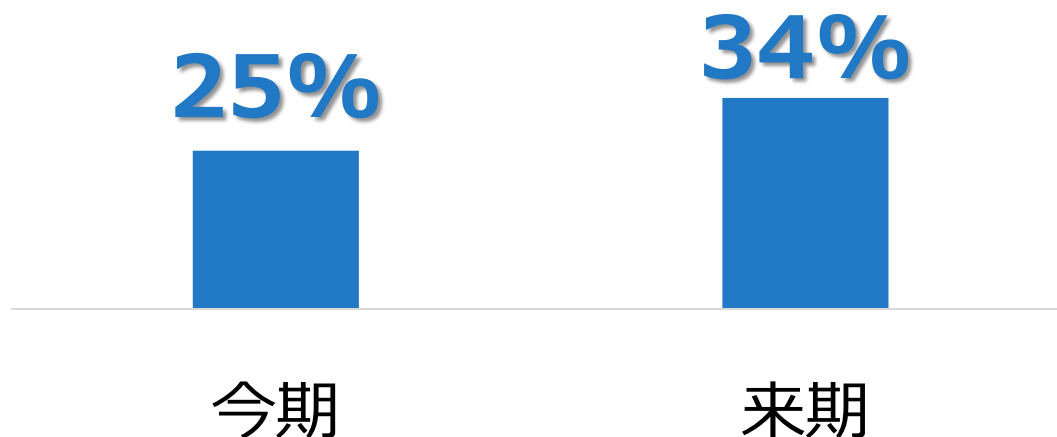
上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場の動向等を勘案して随時変更されます。上記の個別の銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。写真やイラストはイメージとして掲載するものです。

netWINの組入銘柄の利益成長見通し

- netWIN組入銘柄の今後の利益見通しとしてEPS（1株当たり純利益）成長率をみると、AI関連の業績拡大などをドライバーとして、今期が+25%、来期が+34%と相対的に高く成長すると見込まれています。



◆ 本ファンドのEPS成長率



PER：株価収益率

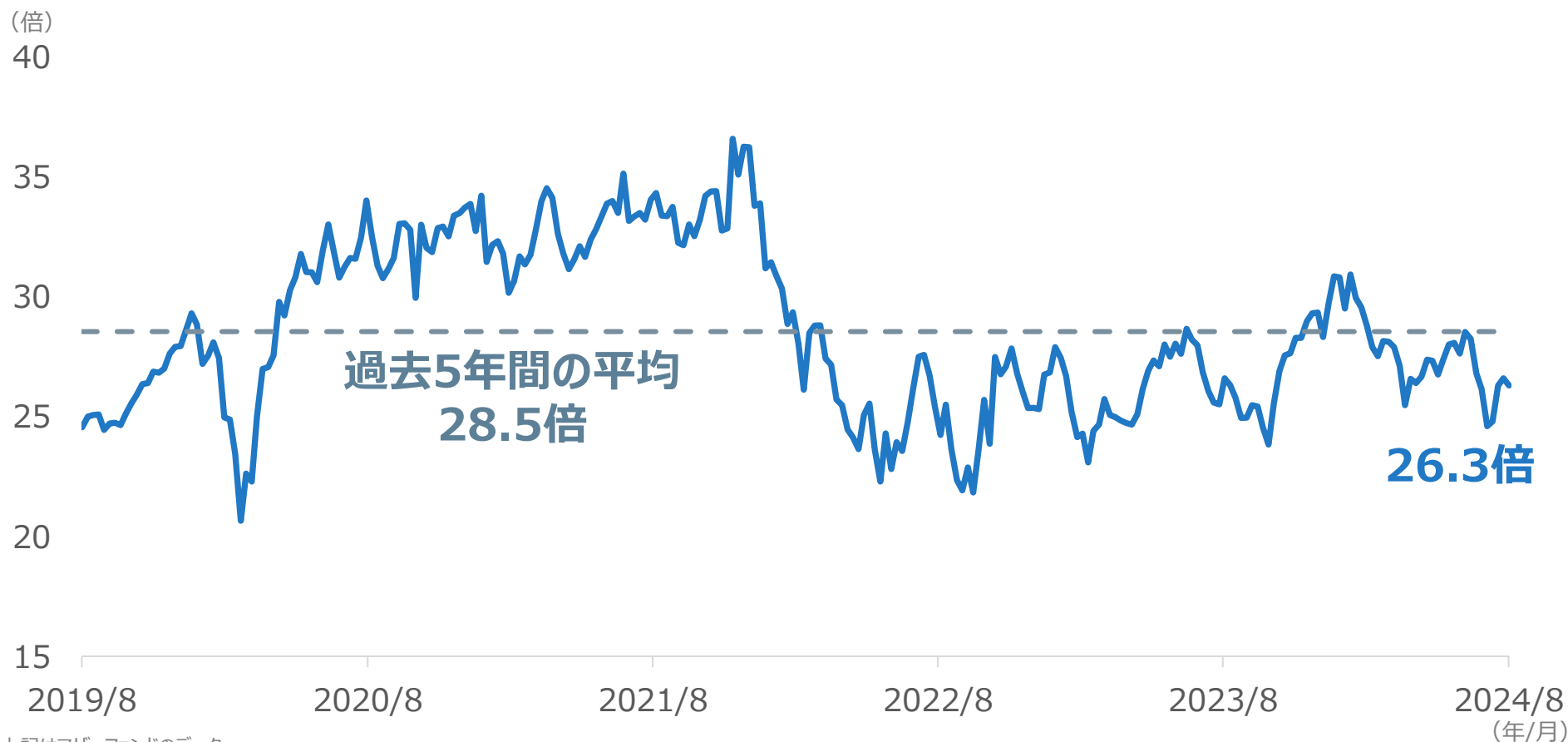
時点：今期、来期ともに2024年7月末時点の予測値、出所：ファクトセット、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメン
各年の市場予想を集計し、組入比率で加重平均したものです。マザーファンドのデータを使用。

上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場の動向等を勘案して随時変更されます。上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。追記をご覧ください。上記は、指数または各ファンドの見通しを示すものではありません。

netWINのバリュエーション

- 株式の割高・割安を測る指標としてPER（株価収益率）が用いられますが、今後高い成長が見込まれるなかにおいても、netWINのポートフォリオのPERは過去5年間の平均以下であり、依然として投資妙味が十分あると考えられます。

◆ netWINポートフォリオ*の予想PER（株価収益率）の推移（来期ベース、過去5年）



* 上記はマザーファンドのデータ

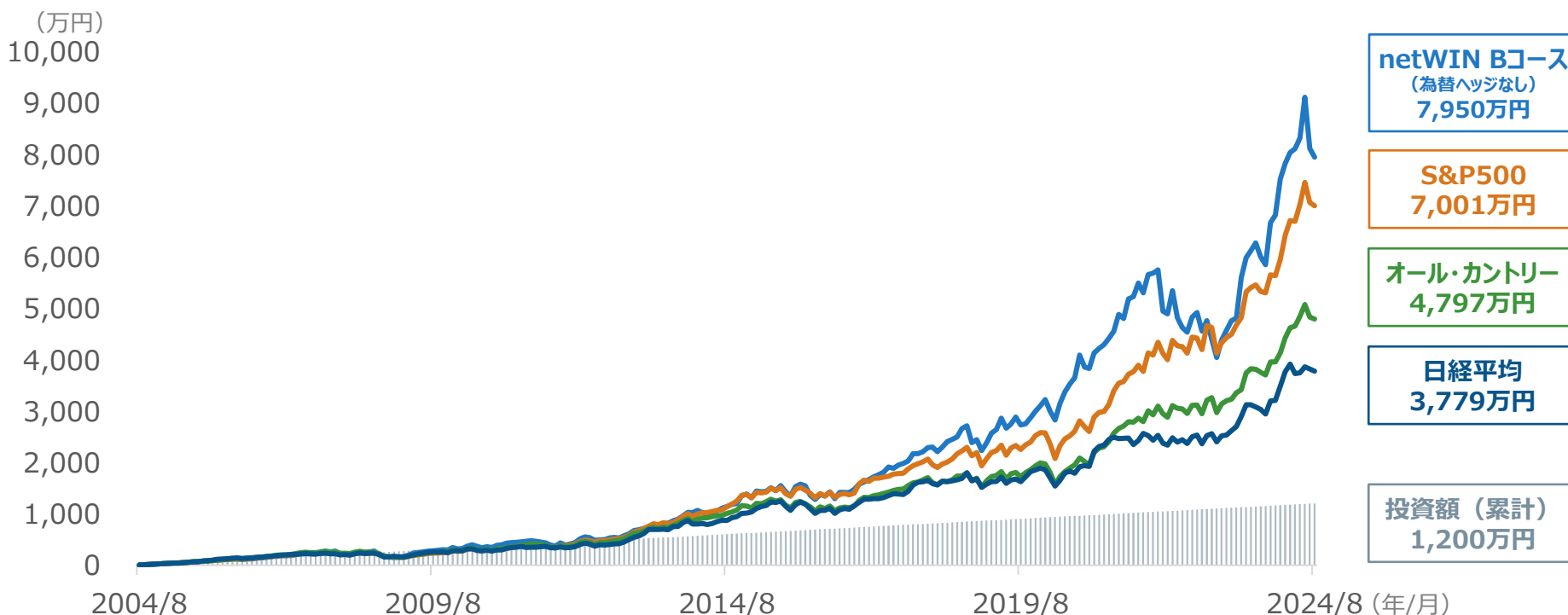
期間：2019年8月30日～2024年8月30日（週次ベース）、出所：ファクトセット、予想PERは来期のコンセンサス予想利益を使用

過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。追記をご覧ください。

(参考) netWIN Bコース 積み立て投資シミュレーション①

- 20年間積み立て投資した場合、netWINはファンド運用にかかる費用を加味しても（購入時手数料は控除前、信託報酬控除後）、米国株式のS&P500や全世界株式のオール・カントリーに投資した場合よりも良好な運用成績でした。

◆ netWIN Bコース（為替ヘッジなし）および主要指数の積み立て投資シミュレーション



期間：2004年8月末～2024年8月末、出所：ブルームバーグ、MSCI、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント 右の枠内の数値は、2024年8月末における時価評価額を示します。

S&P500：S&P500指数、オール・カントリー：MSCIオール・カントリー・ワールド指数、日経平均：日経平均株価指数（指数はいずれも配当込み、円換算ベースまたは円ベース）

指数については信託報酬等の諸費用や取引にかかる手数料、その他の費用は考慮していませんのでご注意ください。netWIN Bコース（為替ヘッジなし）については分配金再投資基準価額（信託報酬控除後）を使用しています。分配金再投資基準価額は、本ファンドの決算時に収益の分配があった場合に、その分配金（税引前）で本ファンドを購入（再投資）した場合の基準価額です。上記の指数は本ファンドのベンチマークではありません。ファンドの積み立て投資の相対的な水準をご理解いただくため、代表的な株価指数に基づいたシミュレーションをご参考までに掲載しています。市場指数そのものに投資することはできません。各市場指数を基準価額と仮定したシミュレーションです。

上記は、積み立て投資について理解を深めていただく目的で作成したものであり、当初一括投資との有利不利を比較する目的ではありません。上記は、過去20年間の投資期間を例示していますが、投資期間を変更して試算した場合は結果が異なり、必ずしもいずれかが有利というわけではありません。上記は、将来の運用成果を示唆または保証するものではなく、投資方法にかかわらず、基準価額が（平均）購入価額を下回った場合には損失を被ります。各投資家ご自身のご判断で投資するようお願いいたします。過去のデータは将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。シミュレーションによるパフォーマンスは、実際の取引に基づくものではなく、その予想力には限界があります。実運用ポートフォリオで上記シミュレーションと同様の結果が得られるとは限りません。積み立て投資にあたっては、長期での投資が可能な余裕資金の範囲で行うことが肝要です。一般的に、投資を行う場合には、一つの資産や資産クラスに集中するのではなく、分散を行うことが望ましいとされていることにもご注意ください。投資額は、ご投資家の資産状況により異なります。各投資家ご自身でご判断ください。

(参考) netWIN Bコース 積み立て投資シミュレーション②

◆ netWIN Bコース（為替ヘッジなし）への積み立て投資を行っていた場合の期間別・金額別シミュレーション

毎月の投資額	5年 (2019年8月末～)	10年 (2014年8月末～)	20年 (2004年8月末～)
1万円	101万円 (60万円)	338万円 (120万円)	1,590万円 (240万円)
3万円	302万円 (180万円)	1,013万円 (360万円)	4,770万円 (720万円)
5万円	504万円 (300万円)	1,688万円 (600万円)	7,950万円 (1,200万円)
10万円	1,008万円 (600万円)	3,376万円 (1,200万円)	1億5,899万円 (2,400万円)

時点：2024年8月末、出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

青字は、積み立て投資を行った際の2024年8月末における時価評価額を、(黒字)は投資額(累計)を示します。netWIN GSテクノロジー株式会社ファンド Bコース（為替ヘッジなし）の分配金再投資基準価額（信託報酬控除後）のデータを基に作成。分配金再投資基準価額とは、本ファンドの決算時に収益の分配があった場合に、その分配金（税引前）で本ファンドを購入（再投資）した場合の基準価額です。

上記は、積み立て投資について理解を深めていただく目的で作成したものであり、当初一括投資との有利不利を比較する目的ではありません。上記は5年、10年、20年の投資期間を例示していますが、投資期間を変更して試算した場合は結果が異なり、必ずしもいずれかが有利というわけではありません。上記は、将来の運用成果を示唆または保証するものではなく、投資方法にかかわらず、基準価額が（平均）購入価額を下回った場合には損失を被ります。各投資家ご自身のご判断で投資するようお願いいたします。過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。シミュレーションによるパフォーマンスは、実際の取引に基づくものではなく、その予想力には限界があります。実運用ポートフォリオで上記シミュレーションと同様の結果が得られるとは限りません。積み立て投資にあたっては、長期での投資が可能な余裕資金の範囲で行うことが肝要です。一般的に、投資を行う場合には、一つの資産や資産クラスに集中するのではなく、分散を行うことが望ましいとされていることにもご留意ください。投資額は、ご投資家の資産状況により異なります。各投資家ご自身でご判断ください。

ファンドの特色

1. 主にテクノロジーの発展により恩恵を受ける米国企業の株式に投資します。
2. 「よりよい投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される」との投資哲学のもと、個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選択を行います。
3. Aコース（為替ヘッジあり）、Bコース（為替ヘッジなし）の選択が可能です。

※主要な投資対象とする米国企業には、メディア、テレコミュニケーション、テクノロジー、サービス等のセクターにおいて、インフラ、コンテンツ、サービス等を提供する企業を含みます。

※Aコースは、対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。なお、為替ヘッジにはヘッジ・コストがかかります。ヘッジ・コストは、為替ヘッジを行う通貨と円の短期金利の差が目安となり、円の短期金利のほうが低い場合、この金利差分、収益が低下します。Bコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。

主な変動要因

株式投資リスク（価格変動リスク・信用リスク）・集中投資リスク

本ファンドは米国の株式を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動リスク等のさまざまなリスクが伴うこととなります。本ファンドの基準価額は、株式等の組入る有価証券の値動きにより大きく変動することがあり、元金が保証されているものではありません。特にテクノロジー関連企業等の株式の下降局面では本ファンドの基準価額は大きく下落する可能性が大きいと考えられます。また、本ファンドは、一定の業種に対して大きな比重をおいて投資を行いますので、業種をより分散した場合と比較して、ボラティリティが高く大きなリスクがあると考えられます。

一般に、株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況に応じて変動します。したがって、本ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があります。現時点において株価が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。また、発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

為替変動リスク

本ファンドは、外貨建ての株式を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には為替変動リスクが伴います。とりわけ、対円で為替ヘッジを行わないBコースでは為替変動の影響を直接的に受け、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。Aコースは、対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替ヘッジを行うにあたりヘッジ・コストがかかります。（ヘッジ・コストは、為替ヘッジを行う通貨と円の短期金利の差が目安となり、円の短期金利のほうが低い場合、この金利差分、収益が低下します。）

※くわしくは最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込の詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

お申込みメモ

購入単位	販売会社によって異なります。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が指定する日までにお支払いください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込日から起算して5営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所またはニューヨークの銀行の休業日（以下「ニューヨークの休業日」といいます。）
申込締切時間	「ニューヨークの休業日」を除く毎営業日の原則として午後3時まで ※2024年11月5日以降、原則として、購入・換金の申込みにかかる、販売会社所定の事務手続きが午後3時30分までに完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にご確認ください。
信託期間	原則として無期限（設定日：1999年11月29日）
繰上償還	各コースについて受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年5月30日および11月30日（ただし、休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年2回の決算時に原則として収益の分配を行います。販売会社によっては分配金の再投資が可能です。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
信託金の限度額	各コースについて1兆円を上限とします。
スイッチング	スイッチング（乗換え）につきましては、販売会社にお問い合わせください。 ※スイッチングの際には換金（解約）されるファンドに対して換金にかかる税金が課されることにつきご注意ください。
課税関係（個人の場合）	課税上は株式投資信託として取扱われます。本ファンドは、少額投資非課税制度（NISA）の「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の適用対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除の適用はありません。原則、分配時の普通分配金ならびに換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）が課税の対象となります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	購入申込日の翌営業日の基準価額に、 3.3%（税抜3%）を上限 として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
換金時	信託財産留保額	なし
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用（信託報酬）	純資産総額に対して 年率2.09%（税抜1.9%） ※運用管理費用は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
	信託事務の費用	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.05%相当額を上限として定率で日々計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
随時	その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込の詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

ファンドの分配方針

原則として、年2回の決算時（毎年5月30日および11月30日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）に、配当等収益および売買益（評価益を含みます。）を中心に収益分配を行います。分配金額は、基準価額水準、市場動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、基準価額水準や市場動向等によっては分配を行わないこともあります。また、基準価額が当初元本（1万口＝1万円）を下回る場合においても分配を行うことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。なお、本ファンドは長期的な信託財産の成長に資するため、収益分配金は少額に抑えることを基本とします。

収益分配金に関わる留意点

分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

委託会社その他関係法人の概要について

●ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（委託会社）

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

信託財産の運用の指図等を行います。

●ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー（投資顧問会社）

委託会社より株式（その指数先物を含みます。）の運用の指図に関する権限の委託を受けて、投資判断・発注等を行います。

●三菱UFJ信託銀行株式会社（受託会社）

信託財産の保管・管理等を行います。

●販売会社

本ファンドの販売業務等を行います。販売会社については下記照会先までお問い合わせください。

※くわしくは最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込の詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

本資料のご利用にあたっての留意事項等

- 本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書（交付目論見書）」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 弊社及びゴールドマン・サックス・グループで投資運用業務を行う関係法人を総称して「ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント」あるいは「GSAM」と呼ぶことがあります。
- 本ファンドは値動きのある有価証券等（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。
- 本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。
- 本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。
- 個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。本資料において言及された証券について、将来の投資判断が必ずしも利益をもたらすとは限らず、また言及された証券のパフォーマンスと同様の投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。
- 本資料に記載された、一般的な市場動向や、産業およびセクター動向、あるいは広範囲にわたる経済、市場および政治状況についての情報は、いかなる投資推奨あるいは投資助言の提供を意図するものではありません。本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント（GSAM）が作成したものであり、GSグローバル・インベストメント・リサーチが発行したものではありません。本資料に記載された見解は、GSグローバル・インベストメント・リサーチ、その他ゴールドマン・サックスまたはその関連会社のいかなる部署・部門の見解と必ずしも同一であるとは限りません。本資料記載の情報は作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。
- シミュレーションによるパフォーマンスは一定の仮定に基づいており、運用者の投資判断に影響を与える市場要因や経済要因は考慮されておりません。また、シミュレーションの結果は、市場の過去の結果を用いたモデルを過去に遡及して得られたものです。シミュレーションの結果には、実際の運用収益を減少させる運用報酬や取引にかかわる費用、その他の費用を考慮していません。実際の運用成果等とは異なります。
- 株式への投資は、個々の企業、業種への見通しや市場・経済の状況等による価格変動のため投資元本を割り込んだり、その全額を失うことがあります。投資スタイル（例えば、グロースとバリュー）の違いにより運用が優位にも劣位にもシフトすることから、同様の資産クラスに投資する他の戦略のパフォーマンスに劣後することがあります。中小型株など時価総額が相対的に小さい場合は流動性が低く大型株式などと比較して価格が急速に乱高下する場合があります。
- 外国証券は、変動性が高く流動性が低くなる可能性があり、不利な経済や政治的展開のリスクを伴う可能性があります。外国証券は規制の未整備、変動性の高い証券市場、不利な為替レートや社会的、政治的、軍事的、規制の、経済的、環境的発展、または自然災害により、より大きな損失リスクを伴いますが、これらに限定されるものではありません。
- 指数値は実際の運用による結果ではありません。指数値は利子収入や配当金の再投資を考慮していますが、実際の投資において収益率を引き下げる報酬や費用等の控除は考慮されていません。指数に直接投資することはできません。
- 投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。
- 投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。
- 本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく（Ⅰ）複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは（Ⅱ）再配布することを禁じます。

© 2024 Goldman Sachs. All rights reserved. <391177-OTU-2120992>

※くわしくは最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込の詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。